

特別会計決算

特定の事業を行う場合、または一般会計と区分して経理する必要がある場合に設置する会計です。

国民健康保険事業

国保年金課 ☎072-433-7275

令和3年度の国民健康保険の加入者数は令和4年3月末時点で、1万567世帯、1万6,549人となりました。前年度に比べ、229世帯、693人減少しています。

主な歳入は、国民健康保険料が17億4,030万円、府支出金が69億1,531万円、繰入金が8億9,577万円、繰越金が4億8,550万円、諸収入が1,305万円、国庫支出金が292万円となっています。

主な歳出は、総務費に1億6,133万円、療養費や高額療養費などの保険給付費に67億3,085万円、大阪府に支払う国民健康保険事業費納付金に25億8,512万円、人間ドックや脳ドック、特定健診の助成を行う保健事業費に6,009万円となっています。

人間ドックの受診者数は360人、脳ドックの受診者数は176人、特定健診の受診者数は3,917人となりました。

介護保険事業

高齢介護課 ☎072-433-7043

令和3年度の介護保険の第1号被保険者数は令和4年3月末時点で、2万2,808人、要支援・要介護認定者数は5,379人となりました。前年度に比べ、それぞれ73人、28人増加しています。

歳入額76億9,343万円の内訳は、公費負担(国・大阪府・貝塚市)と40歳以上のかたに納めていただいた保険料です。前年度に比べて1億4,220万円の増額となっています。

歳出額は74億7,375万円で、前年度に比べて1億6,414万円の増額となっています。主な内訳は、居宅介護サービス給付費が35億7,033万円、施設介護サービス給付費が13億8,636万円、地域密着型介護サービス給付費が9億825万円で、その大半を占めています。

また、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を進め、いつまでも元気に暮らすことができるように介護予防事業、認知症対策・権利擁護事業などを行っています。

後期高齢者医療事業

高齢介護課 ☎072-433-7043

後期高齢者医療制度の運営は、大阪府のすべての市町村が加入する「大阪府後期高齢者医療広域連合」が行っています。

市では、保険料の徴収、申請や届出の受付など窓口業務を行い、医療費に充てるため、被保険者のみなさんからいただいた保険料を広域連合へ納付しています。

令和3年度の本市の後期高齢者医療保険の加入者数は令和4年3月末時点で、1万1,823人となりました。前年度に比べ、202人増加しています。

歳入額は、12億333万円で、前年度に比べて872万円の増額となっています。主な内訳は、保険料と保険料の軽減分および事務費に対する一般会計からの繰入金です。

歳出額は、11億6,803万円で、前年度に比べて1,932万円の減額となっています。主な内訳は、大阪府後期高齢者医療広域連合への保険料の納付金、業務運営に係る事務費です。

企業会計決算

地方公営企業法(地方公共団体の経営する企業および事業に適用される法律)に基づき、独立採算を基本とする企業的経営を行うための会計です。

病院事業

病院総務課 ☎072-438-5500

令和3年度の貝塚病院の利用状況は、延べ患者数で入院が6万776人(前年度に比べ4,318人、率にして7.6%の増)、外来が16万3,745人(同6,617人、同4.2%の増)となりました。

また、医療機能の充実を図るため、乳腺バイオプシー装置などの医療機器を整備したほか、院内環境の整備のためガスコージェネレーション設備や空調設備などを更新しました。

経営状況は、総収益84億5,128万円に対し、総費用が75億4,836万円となり、差引9億292万円の純利益を計上しました。また、特別利益・特別損失を除く経常収支は7億4,858万円で、引き続き黒字となりました。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況ではありますが、今後も当院に求められる役割を果たしていけるよう、医療の質向上や収益確保などを図り、健全経営に努めます。

水道事業

上下水道総務課水道担当 ☎072-433-7143

令和3年度の給水状況は、自己水(地下水など)と大阪広域水道企業団からの受水により配水し、有収水量(※)は928万6,599m³となり、前年度と比較して6万8,483m³(0.7%)減少しました。

事業状況は、かいつか水道ビジョン2019に基づき6億9,273万円を投じ、老朽管布設替工事などを実施しました。

経営状況は、新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援策としての水道料金の減額(基本料金の50%)を実施したことなどにより、総収益16億6,180万円に対し、総費用17億9,382万円で、差引1億3,202万円の純損失を計上し、20期ぶりの赤字となりました。

今後も給水収益などの収益の減少や減価償却費などの費用の増加が見込まれますが、引き続き安全安心な水道水をお届けできるよう健全経営に努めます。

※有収水量とは、収入の対象となる水量。

下水道事業

上下水道総務課下水道担当 ☎072-433-7180

令和3年度の汚水処理状況は、流域下水道で共同処理しており、有収水量(※)は632万840m³となり、前年度と比較して5万5,986m³(0.9%)減少しました。

事業状況は、第4次貝塚市中長期下水道整備計画に基づき12億4,033万円を投じ、汚水事業では、汚水管布設工事の実施により普及率は、65.6%となり、前年度と比較して0.8%増加したほか、雨水事業では、施設の老朽化対策として雨水ポンプ場の耐震化工事等を実施しました。

経営状況は、総収益23億1,566万円に対し、総費用22億8,818万円で、差引2,748万円の純利益を計上し、引き続き黒字となりました。

今後も汚水管布設工事や施設の老朽化対策に伴い減価償却費などの費用の増加が見込まれますが、安定的な下水道サービスを継続できるよう健全経営に努めます。

※有収水量とは、収入の対象となる水量。

会計別決算額

区分	病院事業	水道事業	下水道事業
収益的収入	84億5,128万円	16億6,180万円	23億1,566万円
収益的支出	75億4,836万円	17億9,382万円	22億8,818万円
収支差引	9億292万円	-1億3,202万円	2,748万円
経常収支	7億4,858万円	-1億3,151万円	2,776万円
前年度末利益剰余金	0円	7億5,882万円	1,890万円
前年度繰越欠損金	28億5,305万円	0円	0円
その他未処分利益剰余金変動額	0円	7億5,882万円	6,547万円
当年度末利益剰余金	0円	6億2,680万円	1億1,185万円
当年度未処理欠損金	19億5,013万円	0円	0円
前年度末資金不足額	7,121万円	-27億2,139万円	-2,800万円
単年度資金収支	7億6,416万円	-9,475万円	2,815万円
当年度末資金不足額	-6億9,295万円	-26億2,664万円	-5,615万円
企業債現在高	40億1,272万円	40億196万円	208億4,273万円
事業規模	65億208万円	11億8,945万円	11億8,686万円